

市民タイムス

都市大が県大会V

松商3位、北信越出場へ

秋の高校野球 北信越大会 県大会

第13回北信越地区高校野球県大会(秋季)は10日、長野オリンピックスタジアムで決勝があり、都市大塩尻が佐久長聖に2-0で勝ち、校名が武蔵工大だった平成16年秋季以来の優勝を果たした。北信越大会出場に残り1校を決める3位決定戦は松商が2-1で飯山北を破り、平成17年秋季以来の出場権を得た。北信越大会は23日、富山県で開幕する。組み合わせ抽選は15日に行われる。

(富田昇水)

都市大堅守で完封

都市大塩尻は両者無得点で迎えた8回、笠原の中前打と松原の犠打などで2死2塁とし、高田の左越適時2塁打で先

負った場面で踏ん張り、9回には無死1、2塁とさしたが後続3人を抑えた。失策で津山をもう立て

4戦で1失点投手陣に自信

新チームは投手陣がけがに苦しんだ。その間に

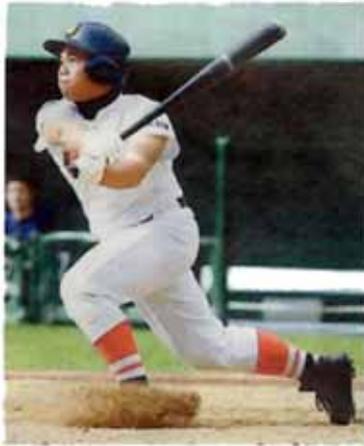
4戦で1失点 投手陣に自信

都市大塩尻は4試合で1失点と、投手を中心に堅い守りで県の頂点に駆け上がった。攻撃面では打線が勝負強さを見せ、2試合でゴールド勝ちした。新井孝行監督は「県大会に入ってから選手が一球となって戦っているという印象が強かった。試合で勝ちたいという気持ちが強く出た」と振り返った。

(富田昇水)

頭角を現した金子豪(2年)がマウンドを守り、準決勝の松商戦で真価を發揮した。左腕の津山拓海(2年)が県1回戦から好投して復調をアピール。決勝はカーブを中心に打たせて取る投球で佐久長聖を完封した。

(富田昇水)



都市大塩尻8回2死2塁から高田が左越えに先制の適時2塁打を放つ

決勝(長野オリンピックスタジアム)			
都市大塩尻	000000011	2	
佐久長聖	000000000	0	
[都]	津山-古谷		
[佐]	小林-宮崎		
3塁打=杉本(都)	2塁打=高田(都)		